

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 什器備品・建物附属設備
 定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
部会事業引当資産	460,000	0	460,000	0
単体会周年事業負担金引当資産	4,000,000	0	500,000	3,500,000
小計	4,460,000	0	960,000	3,500,000
合計	9,460,000	0	960,000	8,500,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	4,394,344	1,584,116	2,810,228
建物附属設備	500,753	23,735	477,018
敷金・保証金	321,945	0	321,945
合計	5,217,042	1,607,851	3,609,191

4. 補助金等の内訳並びに当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金A 助成金運営事務委 託費等	(公財) 全国法人会総連合	0	3,300,000	3,300,000	0

貸借対照表上の記載区分は一般正味財産である。

(注) 上記以外の項目については該当なし。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産、その他固定資産は、財務諸表に対する注記に記載している。